

檀信徒にやさしく説く 真言宗の偈文

第一章 在家勤行の偈文

懺悔/三帰・三竟/十善戒/開経偈/五大願/回向文/百字偈

第二章 法要の偈文

如來唄/云何唄/散華/九条錫杖/三力の偈/四智漢語讚/心略漢語讚/仏讚/至心回向/三礼/礼文/闍伽香水/正念誦/五誓願/四弘/後唄/露地偈/地神勸請偈/法身偈/六大無碍頌/舍利礼文/出家唄

第三章 葬儀の偈文

取剃刀偈/八葉白蓮偈/大師引導の大事/受五結の偈/即身成仏義言/雪山偈/迷故三界城/如來証涅槃偈

第四章 作法の偈文

十仏名/展鉢偈/受食偈/供養偈/蟲食偈/五觀の偈/正食偈/食竟偈/眠覚偈/起床の偈文/漱口の偈文/洗面の偈文/著裙偈/著袈裟偈/隱所偈/沐浴偈/入眠偈/鳴鐘偈/聞晨鐘偈/驚覚偈

第五章 その他の偈文

一切有為法偈/受施偈/本覚讚

云何唄 うんがばい

云何得長寿 うんがとくじょうじゆ

金剛不壊身 こんごうふえしん

復以何因縁 ふいがいんねん

得大堅固力 とくだいけんごりき

〔云何「いかん」が長寿にして、金剛不壊身を得。復また、何の因縁を以て、大堅固力を得る。〕

奇妙な題だと思われるかもしれませんが、偈文

心略漢語讚 しんりやくかんごさん

一切善生主 いっせいせんせいしゅう

妙用体無礙 ひょうようたいむがい

三界如大王さんかいじょだいおう

遍照我頂礼 へんしやうがちやうらい

〔一切善生主なり、妙用体無礙なり、三界は大王の如し、遍く我が頂礼を照す。〕

〔大日(の)讚ともいいます。この別称からわかりますように、大日如來を讚える偈文です。前掲の「四智讚」が金剛界の大日の讚であったのに対し、この偈文は胎藏界の大日の讚となつてい

円鏡力故実覚智

〔えんききようりきこじつかくち〕

〔六大明神にして常に瓏伽なり、四種曼荼羅ししゅまんだ、各「おのおの」離れず。三密加持すれば速疾に顕む。重重帝釋じゅうじゅうたいしやうなるを即身と名づか。然に嚴嚴「さはんじやう」を具して、心數心王しんじゆしんおう、利摩「せつじん」に過ぎたり、各「おのおの」五智無礙智を具す。円鏡力「えんききようりき」の故に実覚智「じつかくち」なり。〕

〔遍法界頌「へんほつつかいじゆ」〕「即身成仏の偈」ともいいます。

弘法大師の「即身成仏義」や「大日経開題」などに説かれていて、とくに「即身成仏義」は紙数のほとんどがこの偈文の解説に費やされています。大師がそのように懇切に述べられたのは、

出典は「大般涅槃經(だいぱんねはんぎやう)」

壽命品です。このお経は釈尊が入滅での最後の旅の様子を記録したもので、重視されるお経の一つです。「涅槃經」の中には、原始仏教に属するもの、後で数種類のものがありますが、典拠は曇無讖(どんむしん)が漢訳した四十巻本のお経です。

どうして出典が大乗經典であるといふと、原始仏教の「涅槃經」では内容に大きな違いが、小乗の「涅槃經」では、釈尊は、つづつあることを弟子たちに示し、あることを再確認させます。そして、した後は教え(法)を抛り所とし、いくようにと遺言するのです。

心經が六百巻の「大般若經」上から「心經」と呼ばれることになり、「心略漢語讚」の漢訳ですが、出典はとも、うりゆうじぎき、せいりゆうの讚の一句ごとに注の形で、

では、偈文の内容をみてみましょう。第一句目はいくつかの読み方が可

あげたものは「國訳密教」のもので、全氏は「一切の善生主、主よ」とい

れています。「真言宗常用經典講義」も、「一切の善生主」、「一切の善生主のみも可能です。これらの読み方の主な

かけている相手が単数か複数かとい「一切の」とすると複数になります。「よく生まれた者」という意味から仏

ますので、この句は「すべてが善く、まじまじとくこり尊、まじまじとくこり

この偈文に密教の根本の教えが、

です。「即身成仏義」において、

述べられています。

〔釈してはいく。この二頌八句を四字を敷す。すなはちこの四空り。一切の仏法はこの一句を出、

二頌の文(もん)を二に分つ。初めの一頌の文を敷く。次の二頌の文を敷く。偈文の作者については、古來三説が

あります。第一は真言の八祖(大日如來法大師まで伝えられた代々の祖師)が

たものとしようものです。第二は大師のす恵果(けいか)和尚の作とするもの

第三が弘法大師の著作とするものです。前掲の大師の著作を出典として扱

如來証涅槃偈

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)

如來証涅槃偈(にょらいしやうねはんげ)